



くじ

市議会だより

第32号

2013年
(平成25年)
8月1日発行



— 北限の海女 素潜り実演スタート —

主な内容

- 市議会を読む 6月定例会 2～3
- 委員会の審査から 4～5
- 一般質問・各会派の関連質問 6～12
- 議会報告会 13
- 意見書／傍聴席からひとこと 14

防災公園整備事業費に5億8300万円を計上

附帯決議を付し一般会計補正予算を可決

第11回市議会6月定例会は、6月13日から25日までの13日間の会期で開かれました。本定例会では、市税条例の一部改正、職員の給与に関する条例等の一部改正など、市長提出議案6件と議員発議案1件について審議し、すべての議案を承認、可決しました。

防災公園整備事業費が計上された一般会計補正予算では、審査にあたり予算特別委員会を設置し、附帯決議を付したうえで可決しました。

一般質問では、各会派を代表して5人、個人で2人の議員が市政の諸課題について質疑を交わしました。



舟渡海水浴場海開きの風景

補正予算

- 平成25年度一般会計補正予算(第2号)
 - 被災者住宅再建支援事業費補助金 1900万円
 - 感染症予防事業費 2億3700万円
 - 低炭素社会対応型浄化槽集中導入事業費 220万5千円
 - 雇用安定化促進事業費 2億5720万円
 - 文化会館運営管理費 1199万1千円
 - 観光施設整備事業費 1193万円
 - 交流人口拡大事業費 1470万円
 - 防災公園整備事業費 644万円
 - 生活再建住宅支援事業補助金 5億8300万円
 - 避難誘導灯整備事業費 2億5720万円

条例等

6月定例会では、5件の条例等の議案を審議・可決しました。

●一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

平成25年7月から平成26年3月までの間における一般職の職員、市長、副市長及び教

議員発議

●少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合二分の一復元及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について

詳しくは、最終ページの「意見書」をご覧ください。

議案等審議結果

第11回市議会6月定例会

【補正予算】

○平成25年度久慈市一般会計補正予算(第2号) **原案可決=賛成多数**

【条例等】

○市税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて **原案可決=全会一致**

○市税条例の一部を改正する条例 **原案可決=全会一致**

○久慈公共下水道中部第6排水区雨水ポンプ場機械設備その1工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて **原案可決=全会一致**

○市道路線の認定に関し議決を求めることについて **原案可決=全会一致**

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例 **原案可決=賛成多数**

【議員発議】

○少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合二分の一復元及び教育予算の拡充を求める意見書の提出について **原案可決=全会一致**

6月定例会賛否一覧 ※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議案等名	審議結果	賛成	反対	新政会			清風会			政和会			創政会		共産党		無党派		-						
				澤里富雄	木ノ下祐治	上山昭彦	中塚佳男	中平浩志	泉川博明	堀崎松男	小柳正人	宮澤憲司	高屋敷英則	畑中勇吉	小倉建一	砂川利男	濱欠明宏	大澤俊光		桑田鉄男	下川原光昭	藤島文男	小野寺勝也	城内仲悦	山口健一
平成25年度久慈市一般会計補正予算(第2号)	賛成多数	17	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	賛成多数	13	8	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※ ○は賛成 ●は反対 欠は欠席 離は離席 ※ 議長(八重櫻友夫)は採決に加わりません

討論

○平成25年度一般会計補正予算(第2号)

反対 梶谷武由 議員

評価すべき点多々あるが、「防災公園整備事業費」について次の点から賛成できない。救援用ヘリコプターの離着陸に際し、やませの影響を受けにくい場所を選定すべき、地滑り対策の調査が不十分、議会に対し説明・協議不足である。以上の点から反対する。

反対 小野寺勝也 議員

防災公園は地震・津波だけではなく、集中豪雨への対応も必要と考えるが、建設予定地は地滑り地形であるとの調査結果が出ている場所であり問題がある。

賛成 下川原光昭 議員

久慈湊地区は、過去、津波により甚大な被害をこうむってきた地域である。解決すべき問題は多々あるが、地域住民・子どもたちの命を守るためにも、今回のチャンスを最大限に生かし、地域住民が安心して生活できる場を提供することが大切と考え賛成する。

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

反対 城内仲悦 議員

人事院勧告制度を無視し、一方的な不利益を地方自治体に押し付けている。地域全体の所得減少を招き、復興に悪影響を与える。地方交付税の削減は財政自主権をないがしろにするものであり、自治の本旨に反する。以上の点から反対する。

教育民生、産業建設の各常任委員会を6月21日に、予算特別委員会を6月21日、25日に開き審査しました。

教育民生

教育民生委員会に付託された議案1件、請願1件を審査しましたので、そのうち1件について概要を紹介しします。

●市税条例の一部を改正する条例

固定資産税の納税義務者が、県及び市からの補助金を受けて、東日本大震災により被災した漁船等を復旧し、漁業生産活動の再開を図った場合に、地方税法による固定資産税の特例を受けられないものについて、特例を設けようとするものです。

被災前の所有者と代替資産を取得した所有者が異なるために特例措置が適用されない状況を考慮し、今回の改正によって課税標準価格を2分の1とする軽減措置を行い、平成25年度以後の年度分の固定資産税から適用しようとするものです。

【問】この条例改正が適用に

なる期間は。

【答】平成23年3月11日から平成28年3月31日までに取得した代替資産で、最初に課税になる年度以降4年度分が対象となる。

【問】軽減した税額は後から補填されるのか。

【答】震災復興特別交付税で措置される見込みである。

そのほか、今年度以降の軽減額について、漁協から個人に払い下げとなった場合の課税についてなどの質疑、答弁が交わされました。

産業建設

産業建設委員会に付託された議案2件を審査しましたので、概要を紹介します。

●久慈公共下水道中部第6排水区雨水ポンプ場機械設備そ

の1工事の請負契約の締結に
関し議決を求めることについて

公共下水道中部第6排水区雨水ポンプ場機械設備工事を施工するにあたり、新明和工業株式会社と請負契約を締結しようとするものです。

平成24年度から整備を進めている川崎町雨水ポンプ場の機械設備工事として、ゲートに口径900mmの水中モーターポンプ2基を組み込む構造で、排水機能とゲート機能を併せ持つ「ポンプゲート」及び流域から流れ込むゴミを連続的に掻き揚げる「除塵機」を製作するものであり、平成26年3月末までに工事を完了しようとするものです。

【問】工事入札の内容は。

【答】岩手県もしくは東北地方に本社、または受任者がある業者8社を指名したうち、入札参加業者は5社で、落札業者の請負率は0・8725であった。

●市道路線の認定に関し議決を求めることについて

川貫3号線は、道路の起点が国道281号に、終点が市道西の沢4号線に接続する道路で、その延長は175m、



工事が進む川崎町雨水ポンプ場

【問】川崎町雨水ポンプ場の耐用年数は。

【答】躯体構造物は50年、機械設備は20年である。

そのほか、ポンプの能力と排水エリアとの関係、据付工事となるその2工事の予定時期などについて質疑、答弁が交わされました。

【問】市道認定にかかるこれまでの地元要望の経緯は。

【答】地元町内会のほか、地権者からの要望があったものであり、これに伴う用地確保にあたっては、地権者の約8割から寄付をいただいており、残りの用地についても寄付採納願が出されている状況である。

【問】市道認定による地元等へのメリットは。

【答】除雪や路面管理等を市が行うこととなり、また、改良工事についても全体の市道計画の中で行われていく。

そのほか、市道認定基準、市道と公共下水道整備との関係などについて質疑、答弁が交わされました。

採決の結果、いずれの議案も全員異議なく可決すべきものと決しました。

【問】防災公園への交通アクセスは。

【答】夏井側・福祉の村の両方向から入れるよう園内道路を整備していきたい。いずれ複数のルートを確認したい。

【問】舟渡レストハウスの完成時期と経営形態は。

【答】完成は7月9日の予定で、管理は直営を考えている。シャワーやトイレを整備し、体験学習もできる施設となる見込みであり、レストラン機能は有さない。

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

広域防災拠点整備予定地として旭町・大崎地区を選定

予算特別



高屋敷予算特別委員長

一般会計補正予算の審議にあたり、動議により予算特別委員会（高屋敷英則委員長、議長を除く全議員で構成）を設置し、6月21日、25日に審査を行いました。

●平成25年度一般会計補正予算（第2号）

今回の歳入歳出予算の補正は、既定の予算額に歳入歳出それぞれ7億8503万9千円を追加し、補正後の予算総額を263億1203万9千円とするものです。

この補正予算の中には、広域防災拠点整備予定地として旭町・大崎地区を選定したとの内容で、防災公園整備事業費5億8300万円が計上されました。

委員会では審査にあたって現地調査を行ったほか、場所の問題や運動公園構想との関連など活発な質疑、答弁が交わされ、その後、議員間討議を実施しました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決しましたが、採決後、附帯決議案についての動議が出され、採決の結果、全会一致で附帯決議を付すことに決しました。

付された附帯決議の内容は次のとおりです。

○附帯決議

整備予定地は旭町・大崎地区の山林となっており、地質に不安があると思われる。久慈市復興計画に掲げる、災害に強いまちづくりの実現を図るためには、防災公園の安全性の確保が何よりも大事であることから、防災公園整備地については、安全性や将来性、また整備費の節減に留意し、吟味・検討すること。

主な質疑

【問】新野球場候補地選定調査の際、旭町・大崎地区は地



整備予定地を視察する予算特別委員会

【問】災害時以外のときの防災公園の平場の利用方法として、想定しているものは。

【答】将来的には、下草を刈って整備をし、子どもたちや青年たちが集いスポーツに汗を流すことができる、フィールドアスレチックやゲートボール場など、大きな荷重がか

ひとくちメモ

【附帯決議とは】

議案の議決にあたって、付随的につけられる意見または要望の決議のことをいいます。附帯決議は議会側の意見、要望であり、執行を法的に拘束するものではありません。

時報に連続テレビ小説「あまちゃん」挿入歌を

市長―久慈高校マンドリン部の演奏で7月より実施



久慈高校マンドリン部

【問】時報メロディーに連続テレビ小説「あまちゃん」の挿入歌を採用する考えは。

【答】時報メロディーにオーブニングテーマ及び挿入歌「潮騒のメモリー」を採用したいと現在、調整中である。

演奏は、久慈高等学校マンドリン部の協力を得るとともに、楽曲の使用については作曲者と交渉中であり、了解が

得られれば7月1日より時報メロディーとして流したい。

【問】震災教訓として、津波震災高を電柱等へ表記する取り組み状況は。また、明治の津波と今回の津波を比較して、住家被害などが増加した長内・久慈湊・夏井の各地区への取り組み方は。

【答】津波標識・避難誘導看板を宇部町小袖・久喜地区の電柱等に設置した。津波の教訓を風化させないために、今年度も侍浜町桑畑漁港から宇部町久喜漁港までの沿岸地域に津波到達点を表記した看板を設置していきたい。今後、内陸、平原地帯にも取り組みを拡大していきたい。

【問】電気料金が値上げされることは、事業所などの復興の取り組みに水を差しかねない。

当市は大震災における災害救助法の適用地域でもあるため、値上げ中止、縮小を関係機関へ要望する考えは。

【答】東北電力では、経済産業大臣に対し、家庭向けで平均11・4%、事業者向けで平均17・7%の電気料金の値上げを申請したと伺っている。被災地の復興に支障が生じないよう、東北市長会などを通じて、国に値上げ中止などを要望している。

【問】「新もぐらんびあ」での海女実演コーナーの開設について、「小袖北限の海女の会」との協議状況は。

【答】「小袖北限の海女の会」と実演実施の可能性について意見交換を行った。詳細については、「地下水族科学館もぐらんびあ」の大型水槽の設

計を進める中で引き続き協議していきたい。

【問】災害時に県立久慈病院において、診療カルテなどが災害等でなくならないよう、安全な場所に保管するなどの診療情報のバックアップ体制はどのようになっているか。

【答】診療情報は浸水被害等を考慮し、病院施設内2階において管理保管されており、また、自家発電装置を設置して災害時に備えているほか、さらなる診療情報のバックアップ体制について、現在、県医療局において県立病院全体としての構築を検討中であると県立久慈病院から伺っている。

【その他の質問項目】公務員給与改定について／新火葬場について ほか

各会派の関連質問

清風会

◆小柳 正人 議員

歩道整備と電線地中化は

【問】国道281号の市街地歩道整備と電線のソフト地中化の取り組みは。

【答】荒町からの歩道が沈下したり、インターロックキングの部分がはげたりしてい

るのが見受けられる。歩道の不良箇所等については、県において補修を行ってきたところであるが、歩道整備、電線のソフト地中化について東北電力を含め関係機関にさらに要望してまいりたい。

【その他の質問】市道街路樹／海女実演 ほか

◆高屋敷 英則 議員

工コ平庭高原の整備計画は

【問】仮称「工コパーク平庭高原」の整備計画は。また、当初計画のような、中核施設整備が今後行われるのか。

【答】県が平成14年に策定した「工コパーク平庭高原実施計画」には、中核施設整備が盛り込まれていたが、その後予算が縮小され、平成20年度に入浴施設が整備された。現在は、宿泊施設を中核施設と位置付け、継続して整備を要望している。

【その他の質問】平庭トンネルについて

● 一般質問

災害支援格差是正の支援制度の創設を

市長―他の自治体を参考に検討



市内の漁港

【問】東日本大震災では大規模災害のため、きめ細かな被災者支援がなされたが、当市では小規模災害による家屋の全壊認定が発生しているケースがある。災害支援格差是正のため、市独自の支援制度を創設すべきでは。

【答】小規模災害被害に対する市独自の制度創設は、他の自治体の取り組み状況も参考としながら検討していきたい。

【問】環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の中では、米国などが漁業補助金や漁港整備補助金の原則禁止を提案しているが、このことに対する市長の所見は。

【答】環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の中では、米国などが漁業補助金や漁港整備補助金の原則禁止を提案しているが、このことに対する市長の所見は。

【問】山内市長は平成15年の市長選挙で、首長の多選自粛について言及しており、多選の弊害対策として、多くの自治体で多選自粛条例が制定されているが、4選目にあたっての市長の考えを問う。

【答】任期の長短に関わらず、多選の弊害に陥らぬよう、日々自らを律している。

【問】漁業補助金の原則禁止は水産業の死活問題になりかねない重大問題であり、市長会など、あらゆる機会を通じて、断固反対の姿勢で国に働きかけていきたい。

【問】障がい者や高齢者が利用しやすい市庁舎として、バリアフリー化が喫緊の課題であると思うが、議会棟の改修やエレベーター塔の建設を検討すべきでは。

【答】市庁舎は築後40年を経過し、耐震診断調査の結果、本棟及び議会棟の耐震補強が必要とされた。今年度中に耐震補強設計を行い、来年度以降、耐震化工事を実施しながら、エレベーター設置の可能性について検討していきたい。

【問】国は地方交付税の削減を引き合いに地方公務員給与の削減を要請している。今回の給与削減分を震災復興財源にあてる事は人柱政策であり、不眠不休で働く被災地職員の士気に影響するのではないかと懸念している。

【答】職員は自ら被災した者も含め復旧復興の為懸命に働いており、その事務量は膨大であるが、今回、職員の給与削減等を行わずに他の行政ニーズを圧迫することは、市民の理解が得られないものと認識している。

【その他の質問項目】職員交通違反について／新野球場建設について ほか

連続テレビ小説「あまちゃん」放映による観光効果は

市長―知名度の向上と地域の活性化が図られている

【問】連続テレビ小説「あまちゃん」放映による当市の観光への効果や観光客の声をどのように捉えているか。また、放映終了後の課題は。

【答】効果としては、久慈市の知名度を全国に広めることができ、新商品が開発されるなど、地域の活性化が図られている。観光客からは、景色や食べ物などで好評をいただ

いており、マイカー規制についても道路事情を考慮すれば賛成との意見をいただいている。課題としては、駐車場の確保や観光客のリピーター化が考えられる。

【問】震災の経験の風化が懸念されていることから、経験を後世に伝えていくためにも地域等と連携し、津波到達点を示す石碑などの建立を急ぐべきと思うが。

【答】沿岸地区に津波到達地点を標記した看板を設置する予定である。また、地域の方々が独自に取り組んでいる例もあるとのことなので、地域コミュニティ振興事業を活用する手段も考えられるが、崖地への設置など、地域の努力だけでは危険性があるため、行政側も検討が必要である。



観光客で賑わう土風館

【問】2016年開催のいわて国体について、選手強化に向けた当市の取り組み状況は。

【答】柔道競技については、国体種目の少年の部の出場選手を育成するため、現在の中

学生を中心とした強化事業を実施している。今後も県の支援事業を活用しながら、6次産業化がさらに図られるよう、関係機関等と連携して取り組んでいく。

【その他の質問項目】

交流人口について ほか

実施し、軟式野球競技については、競技力向上のため、市野球協会加盟登録チーム等の強化練習や遠征試合経費に対し、助成し強化に取り組んでいる。

【問】国内自治体との姉妹都市締結の考え方について問う。

【答】現在、特産品の販売などの縁により東京都小金井市などとの交流を続けており、小金井市とは民間レベルでの交流協定調印がなされている。姉妹都市締結は産業、観光、災害などの縁を大事にし、行政のみならず関係機関等と連携しながら状況を見極めたうえで、姉妹都市締結を視野に入れていきたい。

【問】国内自治体との姉妹都市締結の考え方について問う。

【答】現在、特産品の販売などの縁により東京都小金井市などとの交流を続けており、小金井市とは民間レベルでの交流協定調印がなされている。姉妹都市締結は産業、観光、災害などの縁を大事にし、行政のみならず関係機関等と連携しながら状況を見極めたうえで、姉妹都市締結を視野に入れていきたい。

【問】国内自治体との姉妹都市締結の考え方について問う。

【答】現在、特産品の販売などの縁により東京都小金井市などとの交流を続けており、小金井市とは民間レベルでの交流協定調印がなされている。姉妹都市締結は産業、観光、災害などの縁を大事にし、行政のみならず関係機関等と連携しながら状況を見極めたうえで、姉妹都市締結を視野に入れていきたい。

【問】国内自治体との姉妹都市締結の考え方について問う。

【答】現在、特産品の販売などの縁により東京都小金井市などとの交流を続けており、小金井市とは民間レベルでの交流協定調印がなされている。姉妹都市締結は産業、観光、災害などの縁を大事にし、行政のみならず関係機関等と連携しながら状況を見極めたうえで、姉妹都市締結を視野に入れていきたい。

宇部岩瀬張線の早期整備を

【問】議会報告会でも取り上げられ、地域住民から冬季の除雪等に関わり、何年にもわたり整備要望が出されている宇部岩瀬張線の整備見通しは。

【答】全体の11・2kmのうち7・3kmが改良済みで、平成26年度の完了をめどに、小久慈町古山地区の改良工事を進め、その後、横合地区を整備する。今後も地元との合意形成を図り、早期着工に向け努める。

◆砂川 利男 議員

夏井城跡に説明板の設置を

【問】夏井城跡付近には説明板も標識もなく、素通りされている現状にあることから、説明板などの取り付けを行うべきでは。

【答】史跡等の説明板の設置はまだ十分とは言えない状況で、指定文化財にも説明板が設置されていないところもある。

【問】夏井城跡付近には説明板も標識もなく、素通りされている現状にあることから、説明板などの取り付けを行うべきでは。

【答】史跡等の説明板の設置はまだ十分とは言えない状況で、指定文化財にも説明板が設置されていないところもある。

◆小倉 建一 議員

多選自粛条例の提案について

【問】多選自粛条例提案のための努力と、現時点での検討状況は。

【答】多選自粛条例の提案時期は、環境が整えば直ちにでも行いたいと考えており、自律規定として行うという基本線に沿って検討をしている。

◆大沢 俊光 議員

海女センターの建設について

【問】小袖地区の観光振興の重要な拠点施設である、海女センターの構造や工事時期、建設場所は。

【答】現在、詳細設計を委託中であり、構造は3階建てで、建物内には物販コーナー、多目的ホール、食堂、展望スペースなどを含めるよう依頼している。

建設場所は現在のプレハブが建っている場所を予定しており、9月末頃の詳細設計完成後、工事などの発注事務を進めていく考えである。

創政会

◆下川原 光昭 議員

防災ワークショップの状況は

市民の防災意識低下対策は

市長―防災訓練やイベントで防災意識向上に努める



重要視される防災教育

【問】防災意識の低下が報道され、当市でも年々防災意識が低下している可能性があると思われる。意識が薄れないよう、市内の企業や商店へも働きかける必要があるが。

【問】防災意識の低下が報道され、当市でも年々防災意識が低下している可能性があると思われる。意識が薄れないよう、市内の企業や商店へも働きかける必要があるが。

【問】防災意識の低下が報道され、当市でも年々防災意識が低下している可能性があると思われる。意識が薄れないよう、市内の企業や商店へも働きかける必要があるが。

【問】今年も熊が人里に出没し、注意喚起が頻繁にされているが、熊などの被害対策は。また、猟友会の高齢化が進み会員が減少している中、有害駆除ができなくなる可能性

【問】今年も熊が人里に出没し、注意喚起が頻繁にされているが、熊などの被害対策は。また、猟友会の高齢化が進み会員が減少している中、有害駆除ができなくなる可能性

一般質問

日本共産党久慈市議団 城内 仲悦 議員

地方交付税削減による給与削減は拒否すべき

市長―財政権を侵すもので遺憾だが、苦渋の決断

【問】久慈高校西部地区の排水施設の整備時期、整備手法は。

【答】この排水路は市道沢里川通り線ほかの路面排水の流れ末として検討を重ねてきたところであり、昨年度ルートを決出し、用地測量を実施した。今年度は地元との合意形成を図りながら用地取得に努めていきたい。

【問】地方自治体の固有の財源である地方交付税を削減しての市職員の給与削減は拒否すべきではないか。

【答】地方固有の財源である地方交付税を地方公務員の給与削減に用いることは、地方

分権の流れに反し、地方の財源自主権を侵すものである。

【問】オスプレイの岩手県内の飛行ルートが明らかにしていることから、住民の安全確保を図るために、国に対して飛行訓練中止を求めざるべきか。

【答】米軍機の飛行訓練ルートが国土交通省に事前に通知されていることから、ドクターヘリなどの衝突を避けるためにも、積極的に情

報開示を求めるべきでは。

【問】昨年10月に東北市長会総会でオスプレイ飛行訓練の安全確保に関する決議が採択され、国に対し安全性などの3項目について要請した。米軍機の飛行ルートは、事前通知の事実が確認できないが、住民の安全な生活を脅かす恐れがないよう引き続き強く要請していく。



米軍用機オスプレイ

【問】風疹ワクチン予防接種への助成が補正予算に計上されているが、助成の内容は。

【答】風疹の流行を抑制し、健康と安心を守るため、子育て世代への風疹の予防接種に対し、市独自で予防接種の費用の一部を助成する。

農薬の健康被害の対応策は

【問】ネオニコチノイド系農薬は、ニコチンと類似の化学構造を持つ神経毒性物質で、人体への深刻な健康被害もあると聞かれますが、対応策を教えてください。

【答】ネオニコチノイド剤に限らず、農薬は人畜や環境に悪影響を与える可能性があり、今後も安全使用の啓発、指導に努めていく。

【問】震災からの復興に向けて実施した防災ワークショップの取りまとめ状況は。

【答】岩手大学と共同で住民参加による防災ワークショップを4回開催し、行政と住民がなすべき具体的な行動計画を作成した。市内全域で共通する事項については、久慈市防災計画の中にも反映されるべきであり、課題点については復興計画の中で事業化を進め、取り組んでいく。

【その他の質問】中心市街地活性化基本計画について

◆藤島 文男 議員

【問】津波避難誘導対策について、太陽光式電池の避難誘導灯の設置状況は。

【答】地震による停電時の夜間においても、迅速かつ円滑に避難が行われることを目的として、沿岸地区に14基設置しており、今年度も3カ所に整備を予定している。また、漁港周辺の避難誘導を目的に、避難誘導照明灯を設置していく予定で

一般質問

社会民主党 梶谷 武由 議員

駅前地下道天井の早期補修予定は

市長―これまでの工法より強い工法を検討し、早急の実施

【問】駅前と川崎町を結ぶ地下道の天井部分のコンクリートが剥離し、中の鉄筋が錆びてむき出しの状態が多数見受けられ、大変危険な状態である。また、蛍光灯が点灯していない箇所が見受けられるが、点検と補修計画は。

【答】建設から相当年数が経過し、経年劣化によるコンクリート剥離が進行しているため、打音検査を行い、劣化部分のコンクリートをはがした。



補修が必要な地下道天井

補修は、これまでより早く強い工法を検討し、早急に実施していく。また、照明施設のパトロールを強化し、迅速に対応していく。

小中学校の津波警報発令時の対応は

【問】子どもが学校にいる時に津波警報が発令されると、子どもを親に引き渡さないことになっているが、具体的な対応は。また、毛布などの寝具や食料の備蓄、暖房器具などが必要と思うが整備状況は。

【答】県教委の危機管理マニュアルでは、警報が解除されるまで親に引き渡さないことになっており、各学校でも同様のマニュアルを作成している。最初は全員を学校に留めておき、その後の状況を見な

がら浸水区域内外で対処方法を判断しながら対応していく。

【問】し尿処理場の建設計画と、災害時や故障時における他自治体との連携は。

【答】し尿処理場は、久慈広域連合が主体となって建設するものであり、今後、構成市町村とともに建設候補地の選定事務を進めていく。

【その他の質問項目】また、他自治体や他施設との連携は、県内を9つの地域に分け、災害時の相互応援協定を結んでいる。

交通対策／NTT光回線の拡大／ごみ処理場建設計画／放射能被害 ほか

あり、今後も継続的に整備を続けていく考えである。

◆下館 祥一 議員

教育旅行の受け入れ状況は

【問】教育旅行で当市を訪れる人の人数の推移と受け入れ状況は。

【答】平成22年度は6592人で、平成23年度は震災の影響もあり、4350人に落ち込んだ。平成24年度は「キズナ強化プロジェクト」を実施したため7127人に増加し、今年度は6345人の受け入れを見込んでいる。

なお、民泊を受け入れてくれる農家の戸数は減っていない。

新議会

◆上山 昭彦 議員

土地改良区水路の早期改修を

【問】上長内を通る農業用水路は、老朽化で崩落している箇所があり、大雨時にせき止められ、氾濫すること

も想定される。一般家庭の雑排水路としても利用されていることから、土地改良区の改修ではなく、久慈市として補修、改修等できないものか。

【答】維持管理は土地改良区が主体で、改修の考えはあるが、財政状況から困難のため県営事業等の導入を検討していく。

【その他の質問】三陸北縦貫道路／職員の守秘義務 ほか

◆泉川 博明 議員

久喜漁港に津波避難路を

【問】久喜漁港内には、津波の際の避難路が全くなく、港南側の陸側が閉まると、逃げ場がない現状であり早期に整備すべきでは。

【答】避難路の必要性について認識しているが、漁港背後はもろい岩盤の急峻な崖地で、避難路の整備は困難な状況にある。陸側部分への階段等避難施設の配置、構造など県と連携を図り、整備可能な手法の検討を行っている。

【問】 大川目地区は場整備内の市道交差点は事故も多く、早急に交通安全標識を設置すべきと思うが。

【答】 当交差点は見通しもよく、スピードを出しやすいにもかかわらず、道路優先判断が明確ではなく、事故の危険があると認識している。今年度内には標識の設置を予定している。久慈警察署から聞いている。



【問】 歩道橋型津波避難タワーは、用地取得時間や経費を削減できるという特徴があるが、当市でも設置を検討すべきと思うが。また、久慈湊小学校付近に建設する予定は。

【答】 現在、津波避難タワーの施設条件の把握や仕様の比較検討を行っており、今後、久慈湊地区の被災住宅跡地に建設を予定している。

歩道橋型避難タワーについては、既存の歩道橋がない当地域においては、克服すべき課題が多い。

久慈湊小学校付近への避難タワー建設は、今後も国に要望していきたい。

【問】 男性が風疹予防接種を受ける際、仕事上支障がある

意見書

少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度の国の負担割合二分の一復元及び教育予算拡充を求める意見書

内閣総理大臣ほか関係大臣等へ提出

6月定例会では、議員発議による次の意見書を可決し、

内閣総理大臣ほか政府関係機関などに提出しました。

〔概要〕

生徒指導の課題も深刻化する中、子ども一人ひとりに丁寧な対応を行うためには、1学級の規模を引き下げる計画的な定数改善が必要である。また、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合が引き下げられ、自治体財政を圧迫するとともに、非正規雇用者が増大するなど教育条件格差も生じている。

将来を担い、社会基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要であり、子どもや若者の学びを切れ目なく支援していく観点から、小中学校における1学級あたりの定員を30人以下とすること、義務教育費国庫負担制度の国の負担割合を二分の一に復元すること、学校整備費等、特にも被災自治体における教育予算が十分に確保できるよう、国の教育予算を拡充すること。を強く要望するものです。

編集後記

広報編集特別委員会

委員長 畑中勇吉

第11回6月定例議会は、昭和50年12月議会以来、なんと38年ぶりに補正予算に特別委員会設置の動議が可決され、本会議、委員会において熱い議論が交わされた議会でありました。

事の発端は、防災公園整備に向けた補正予算5億8千万余円の提案でした。6月21日の予算特別委員会では、旭町内の現地調査のあと、早速審査に移りましたが、議会運営委員会の開催、休憩、議員間討議を含め、延々午後10時過ぎまで議論が交わされました。また、国が地方交付税を減らし、地方公務員の給与削減を求める中で提案された職員給与改定についても、その是非について種々意見が交わされました。

今号では、より開かれた議会をめざし、予算特別委員会の詳細や議案に対する議員個々の対応について掲載することになりました。

市議会、議会広報等について市民みなさまよりお気軽にご意見いただければ幸いです。

「市議会を傍聴して」

久慈 信さん

久慈市小久慈町



4月1日以降に退職する地方公務員は、退職金が減額されることを組み込んだ「2013年度予算案」が決定になったため、警察官を含む前倒し退職者が続

傍聴席からひとつ

出し、社会問題となりました。後で分かったことですが、それは退職手当に留まらず、国家公務員の給与減額支給措置を踏まえ、各地方公共団体においても速やかに国に準じて必要な措置を講ずるよう要請することを閣議決定しました。1月29日には地方財政計画に国公臨時特例措置に準じた削減を組み込んだ、2013年度予算案を決定しました。

つまり市役所職員の給与を減額することを前提とした、前年比マイナスの地方交付税となりました。当初4月からの実施予定だった

た一律削減を7月以降に修正したとあつたので、当市議会でのような審議がなされ決定になるのに興味を持って傍聴しました。

議員からの「要請を拒否すべき」と言う意見に対し、「このやり方は地方分権の流れに反し、地方財政自主権を侵すもので、苦渋の決断を迫られたことは誠に遺憾だ」との答弁で終わったことに物足りなさを感じました。せめて、「地方交付税額の算定方法に関する意見書」の提出を議員発議としてあげることができなかったでしょうか。

議員表彰

5月22日に開催された第89回 全国市議会議長会定期総会において、当市議会の3人の議員が表彰されました。

表彰状は、6月定例会において八重櫻議長から伝達されました。

○一般表彰（議員在職10年以上）

小倉 建一 議員 澤里 富雄 議員 木ノ下 祐治 議員



再生紙と大豆インクを使用しています